

① 施工前準備



施工前

雑草がある場合は出来るだけ除去し、ある程度整地する。



レベル合わせ

縁石部分は、砂利の厚さ分50mm下げる。

② シート敷設



敷設開始

ヨレや隙間がないように端から敷く。



ピン止め

1列目のシート位置が決まったらプラピンでシートを仮固定。



重ね約100mm

2列目のシートを敷く場合は1列目のシートに100mm以上の重ね代を設ける。



テープ貼り

プラピンを縦横1m間隔で打ち込み、その上から重ね部分を塞ぐようにザバーン®用接続テープを貼る。

③ シート端部処理



支柱回りなど

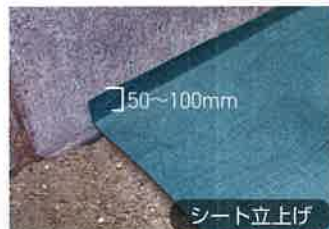
建造物などがある場合にはそれに沿って隙間なくきれいにカットする。

※建造物や障害物とシートの間に隙間が生じる場合はザバーン®用接続テープを使用し、端部処理を行う。



障害物など

移動可能な障害物の下にシートを敷き、シートのカットは最小限にする。



シート立上げ

壁もしくは基礎にシートを50~100mm程度立ち上げる。



排水桝など

上にシートを被せ、縁に沿ってカッターで切り抜く。

④ 砂利敷き



シート敷設完了



厚さ50mm程度で均一に敷く。



シートは砂利で完全に隠す。

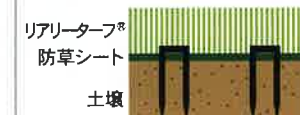


完成

■ その他施工例

リアリーターフ® 人工芝下

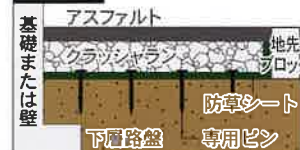
断面図



防草シートに専用ピンを1mピッチ(1~2本/㎡)で打ち、リアリーターフ®を仮固定後、専用ピンで10本/㎡で本固定する。

アスファルト下

断面図



防草シートに専用ピンを1mピッチ(1~2本/㎡)で打ち、クラッシュヤランを50~150mm程度敷いた上にアスファルトを施工する。

- すべての植物に対し、完全なる防草効果を持つものではありません。
- 植物の種類および施工方法によっては、シートの端部、重ね部、キズ穴などから発芽する場合もあります。
- 鳥の糞に含まれていたり飛来したりした種子によって、砂利から雑草が生えることがあります。シートによって土中に根が張れないため、抜き取りは容易です。
- 場合により、シート重ね部分や立上げ部分を接続テープ、または専用ボンドで接着するとより効果的です。



取扱注意事項

- 本製品は長期間、直射日光のあたる場所に放置しないで下さい。直射日光にさらされ続けると劣化の原因になることがあります。
- 本製品は、火及び高熱によって溶けたり燃えたりすることがありますので、火や高熱物を近づけないでください。

環境良品



- 本製品は、環境に配慮した製品です。
- 製品及び梱包資材は、保管使用、廃棄(焼却、埋め立て)の際にダイオキシンなどの環境影響物質が発生することはありません。
- 廃棄方法は各自自治体の指示に従ってください。

砂利の選定



適した砂利
大きさが均一



不適な砂利
土、パウダー、種子が混入しているので雑草が生えやすい



株式会社 グリーンフィールド

TEL : 0120-222-178 FAX : 0120-522-178
 E-mail : sales@gfield.co.jp Web : www.gfield.co.jp

詳しくは「ザバーン®プランテックス®防草シート 技術資料」をご確認ください。ザバーン® プランテックス® 防草シートは米国デュポン社の商標および登録商標です。